

# 改憲・護憲派 声そろえ

## 「96条守らねば憲法破壊」

安倍首相が意欲を示す憲法九六条の先行改憲に反対する憲法学や政治学の研究者でつくる「九六条の会」が発足し、代表の樋口陽一東大名誉教授らが二十三日、東京・永田町で記者会見した。護憲派だけでなく、改憲派の論客として知られる小林節慶応大教授も発起人として参加。この日は超党派の議員連盟「立憲フォーラム」も会合を開き、改憲手続きの緩和を阻止する動きが加速してきた。

### 研究者ら結集

「憲法の破壊だ」「政治家集団の暴走」。会見では、九六条の先行改憲への批判が噴出した。

九六条は改憲の発議に衆参両院で三分の二以上の賛成が必要と定めている。安倍首相はこれを過半数に緩和する改憲の是非を参院選の争点にする構えだ。

樋口名誉教授は「憲法改正権(九六条)によって、その条文自体を変えるのは、法論理的に無理な話」と指



96条の会の発足経過を説明する樋口陽一代表(右から2人目)と小林節教授(右)23日、東京都千代田区で(樋口撮影)

### 保守論客・小林教授も参加

を張っている。九六条の会の発足会見に出席した後も超党派の議員でなく権力者を縛るもの、らの前で講演。「生まれて初めて、(護憲派の)樋口おらず、議論にならない」と名譽教授と同じ側に座ったと切捨てた。

小林教授は「憲法を国民に取り戻す」と言いながら三分の二の賛成を獲得できら、権力者が国民を利用しようとする改憲論を堂々とよつとしている」と安倍首相語りた」と持論を述べ相を批判。国民の義務規定だ。

### 「権力者が利用」安倍首相を批判

小林節教授は約三十年間、自民党の勉強会で指南役を務め、自衛軍や新しい人権の規定を唱える改憲論者。だが、九六条先行改憲の問題が浮上して以降は、テレビやインターネットの討論番組に精力的に出演し、真っ向から反対の論陣

摘。「国民が決断する」会で三分の二の数字をためる材料として、国集めるのが国会議員の

職責。それを軽視し、過半数で国民に丸投げするのはおかしい」と述べた。世界的にも、改憲手続きを緩和する改憲をした例は「知る限りない」という。山口二郎北海道大教

授は「九六条の争点化は前代未聞で、保守政治の劣化だ」と話し、強い危機感が会の発足につながったことを強調した。

立憲フォーラムは一般公開で小林教授の講演会を開き民主、社民、共産の国会議員ら約百人が参加。幹事長の計元清美衆院議員は「立憲主義という言葉が広がり国会の空気は変わってきた」と話した。